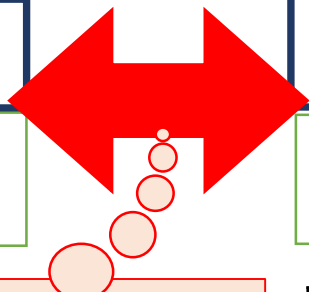


# 糖尿病と歯周病について

## 健康くさつ21（第2次）での位置づけ

基本的な方向2 生活習慣病の発症予防と重症化予防 施策分野(2) **循環器疾患・糖尿病**

基本的な方向1 生活習慣の改善 施策分野(6) **歯・口腔の健康**



- 特定健診・特定保健指導実施率の向上を推進し、メタボリックシンドローム該当者の減少を目指します！
- 糖尿病対策の推進を図り、糖尿病や糖尿病合併症を患う人の減少を目指します！

- 子どもから高齢者まで、全ての年代で「かかりつけ歯科医」を持ち、定期的に歯科受診をすることで、健康な歯・口腔の市民を増やします！
- ライフステージに応じた口腔内の清掃方法の定着を推進し、高齢者になっても自分の歯でおいしく食べられる市民を増やします！

【目標】糖尿病有病者の増加抑制

中間評価時 (H28)	現状値 (H29)	目標値 (H35)
11.6%	10.7%	増加抑制

◆糖尿病有病者は約1割。(草津市特定健康診査のうち、HbA1c6.5%以上または糖尿病治療薬内服中の者の割合)

※**糖尿病と歯周病**には、密接な関係があり、糖尿病の方は歯周病になりやすく、また、歯周病は血糖値の改善を阻害して、糖尿病の重症化や回復の遅れにつながります。(滋賀県歯科医師会HPより)

【目標】定期的に歯科健診を受ける人の増加(50歳代)

中間評価時 (H28)	現状値 (H29)	目標値 (H35)
28.8%	-	40%

◆歯科健診受診者は50歳代で3割。(滋賀の健康・栄養マップより)

【目標】60歳で生活上、かむことに満足している人の割合

中間評価時 (H28)	現状値 (H29)	目標値 (H35)
61.1%	59.7%	65%

◆かむことに満足している人は、60歳で6割。(草津市節目歯科健康診査より)

### 現状

#### 1. 節目歯科健康診査(40・50・60・70歳)

- 啓発) ・対象者に受診券発送
- ・ポスター掲示(健診実施医療機関、市内内科・小児科・産科、びわこ薬剤師会会員薬局、市内店舗、市内関係施設等)

表1 節目歯科健康診査経年受診状況【単位：人(%)】

	H27	H28	H29
対象者数	6,629	6,315	6,467
受診者数	462(7.0)	376(6.0)	370(5.7)
参考：受診率(県)	2.8%	2.6%	-

・受診率は、県平均よりは高いが、年々低下。

表2 H29 節目歯科健康診査年齢別受診状況【単位：人(%)】

	40歳	50歳	60歳	70歳
受診者数	90(4.3)	54(3.3)	67(5.3)	159(10.5)
要治療者数	42(46.7)	26(48.1)	39(58.2)	96(60.4)
歯周病診断者数	30(33.3)	14(25.9)	24(35.8)	74(46.5)

・50歳の受診率が最も低い。  
**・歯周病と診断された人は、40歳で3割。**  
 参考：全国の歯周病の有病率は、30～50歳代は約8割。(厚生労働省平成26年患者調査より)

#### 2. 特定健康診査(40～75歳未満)

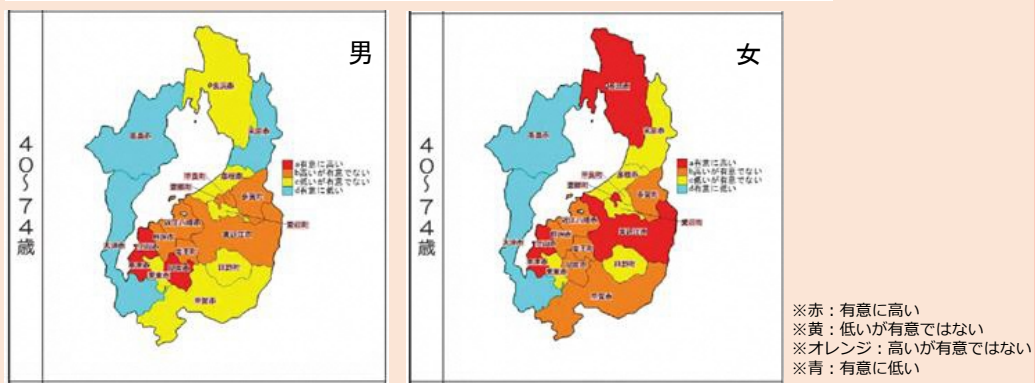
- 啓発) ・対象者に受診券発送、未受診者に再勧奨、未受診者に電話勧奨、ポスター掲示
- 体制) ・保健センターやエステピアホテルでの健診を実施 がん検診も同時受診可

表3 特定健康診査・特定保健指導経年実施状況【単位：人(%)】

		H27	H28	H29
特定健康診査	対象者数	17,462	17,164	16,728
	受診者数	6,404 (36.7)	6,507 (37.9)	6,116 (36.6)
	参考：受診率(県)	(38.2)	(38.2)	(38.4)
メタボ該当者数		1,154 (18.0)	1,215 (18.7)	1,163 (19.0)
メタボ予備群者数		529(8.3)	622(9.6)	564(9.2)
特定保健指導	対象者数	687	723	636
	実施者数	105 (15.3)	121 (16.7)	116 (18.2)
	参考：実施率(県)	(30.8)	(32.4)	(34.7)

・受診率は、横ばい。  
 ・メタボ該当者は受診者の約2割。  
 ・特定保健指導実施率は年々増加しているが、県より低い。

図1 H27 県内の医療保険者の健診等の結果 HbA1c5.6%以上 (出典：滋賀県保険者協議会健診等データ分析結果報告書)



・**草津市は男女ともにHbA1cの所見のある人が多い。**  
 参考：40～74歳HbA1c6.5%以上の人は、男女ともに「県と比較し高いが有意ではない」状況。

**HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)**とは  
 過去1～2か月の血糖値の平均を反映する指標で、糖尿病の診断に使われます。  
 《特定健康診査における特定保健指導基準》  
 5. 5%以下：基準範囲内  
 5. 6%～6. 4%：生活習慣の見直しが必要です  
 6. 5%以上：糖尿病が強く疑われます

### 部会での意見と方向性

#### 【歯科健診・歯科受診について】

- 【部会での意見等】
- 「節目歯科健診」も含め、歯科医院を受診するきっかけづくりや歯科医院の定期的な受診の必要性の啓発をしていく必要がある。
  - 「節目歯科健診」については、受診者を増やすために集団検診として日を決めて保健センター等で実施してはどうか。(一方、歯科医師の委員からは、健診は、照明器具や検査器具等がそろった診療所で、指導も含め実施する必要があるとの意見も出た。)



【来年度の方向性】  
 健康イベント参加者や集団特定健診受診者、また、乳幼児健診会場での保護者等に「歯周病」の啓発を行い、定期的な歯科受診をすすめていく。

#### 【市民の糖尿病の状況について】

- 【部会での意見等】
- 糖尿病に関しては、軽度の人が多いのか、重症の人が多いいのか、もう少し深く分析して、対策を講じるべき。



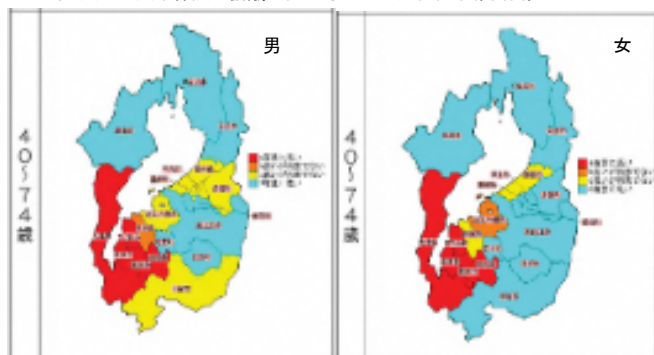
【来年度の方向性】  
 実態把握を継続し、対策を検討していく。あわせて、健診等を受診することで自分の血液検査の値を知ることができるところから健診受診率向上への取組みをすすめていく。

# 現状

# 部会での意見と方向性

## 3. 生活習慣の状況（H27）

図2 H27県内の医療保険者の健診等の結果  
1回30分以上週2回・1年以上の運動  
(出典：滋賀県保険者協議会健診等データ分析結果報告書)



・運動習慣のある人は、他市町より多い。

表5 野菜摂取量（成人1人1日あたり）  
【単位：g】  
(出典：滋賀の健康・栄養マップ調査)

適正量	草津市	県
350	270.2	282.7

表6 脂質エネルギー比率【単位：%】  
(出典：滋賀の健康・栄養マップ調査)

	草津市	県
男	28.9	26.7
女	29.8	27.8

・野菜の摂取量は少なく、脂質の比率は高い状況。

表7 生活習慣病相談の実施状況【単位：人】

	H27	H28	H29
高血圧	0	5	4
脂質異常症	4	10	4
糖尿病	6	25	38
その他	6	4	2
合計	16	44	48

・糖尿病に関する相談が一番多い。

## 4. 健康推進員の活動状況

表8 歯科啓発および糖尿病予防・生活習慣病予防の実施状況

	H27	H28	H29
歯科啓発 (エプロンシアター)	22か所 延べ1,955人	15か所 延べ1,440人	18か所 延べ1,639人
糖尿病予防・生活習慣病予防 (糖尿病予防啓発紙芝居等)	2回 延べ35人	4回 延べ249人	14回 延べ249人

表9 歯周病および糖尿病にかかる現任研修の実施状況

	H27	H28	H29
実施内容	講演会 「本当はこわいメタボリック・シンドローム」	講演会 「歯周病と全身疾患の関係」	調理実習 「糖尿病 なんともないと 見過ごすな」
参加人数	75人	99人	92人



・その他、生活習慣病予防のための減塩事業として、家庭の味噌汁等の塩分を測定する活動も実施している。  
・平成29年度は、調理実習に糖尿病予防を取り入れたため、地域における糖尿病予防教室の開催数が増えている。

## 5. 「お出掛けドクターとお気軽トーク」、「お出掛け薬剤師とお気軽トーク」実施状況

表10 お出掛けドクターとお気軽トーク実施状況

	H27	H28	H29
お出掛けドクター とお気軽トーク	4か所 延べ138人	12か所 延べ564人	7か所 延べ239人

・子どもから高齢者を対象に、様々な内容で実施。

参考：糖尿病治療にあたり、歯科診療所および一般診療所ともに、医科歯科連携を行う医療機関の割合が増加。(滋賀県歯科保健計画-歯つらつしが21-より)

表11 お出掛け薬剤師とお気軽トーク実施状況

	H27	H28	H29
お出掛け薬剤師と お気軽トーク	10か所 延べ271人	9か所 延べ260人	6か所 延べ173人

・薬の正しい飲み方やジェネリック医薬品について、かかりつけ薬局についてなどの内容で実施。

参考：滋賀県薬剤師会は、糖尿病治療薬を処方された患者さんに歯科受診を勧める事業を実施。(滋賀県歯科保健計画-歯つらつしが21-より)

## 【糖尿病と歯周病について】

### 【部会での意見等】

- 糖尿病も歯周病も生活習慣病であり、健診で早期発見が可能である。関連性も強い。



### 【来年度の方向性】

糖尿病と歯周病の関連性を踏まえた上で、それぞれの取組みをすすめていく。

## 【健康推進員の活動について】

### 【部会での意見等】

- 啓発は、顔を合わせて一声かける方が効果がある。健康推進員活動の中で、健診受診や歯科受診の必要性を伝える活動を継続していきたい。



### 【来年度の方向性】

健康推進員現任研修で、糖尿病や歯周病に関するテーマを取り入れ、具体的に住民に声をかける手法等についても伝えていく。

## 【出前講座等の実施状況について】

### 【部会での意見等】

- 滋賀県歯科医師会実施の健康教育もあり、「お出掛けドクター」や「おでかけ薬剤師」とともに活用するとよい。



### 【来年度の方向性】

健康教育や出前講座の利用について、各種イベント等でもチラシ配布等を行い、広く市民に啓発していく。